

PRESS RELEASE



尚絅学院大学

Passion with Mission

熱い心、響かせる

リリース日: 2025 年 6 月 4 日

尚絅学院大学 生涯学習講座「尚絅オープンユニバーシティ」 「日本の染織探訪～歴史と技～」のご案内

報道関係者の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素より本学院の教育へご理解・ご協力いただき、誠にありがとうございます。

私たちは毎日、布や衣服に囲まれて暮らしています。

これらは、人々の知恵と工夫から生まれた長い歴史と物語を持つもので、特に日本では、独自の素晴らしい染織文化が育まれてきました。当講座で、実際に布に触れ、その背景にある文化や職人の技を感じてみませんか？

そして、布を見る眼を養い、その奥深い魅力に共感していただけたら幸いです。

ご多忙の折恐縮ですが、趣旨をご理解いただき、ぜひ取材くださいますようお願いいたします。

■日本の染織探訪～歴史と技～

日 時: 7/10(木)・7/17(木)・7/24(木) 13:30～15:00

講 師: 玉田 真紀(尚絅学院大学名誉教授 服飾文化学会会長)

会 場: 尚絅学院大学長町サテライトプラザ(たいはっくるイオプラザ1階)

受 講 料: 3,900 円 ※事前申込が必要です。

<本件担当者>

尚絅学院大学 交流推進課

担当: 高橋 幸子

電話: 022-381-3315

Mail: koryu@shokei.ac.jp

<お問い合わせ先>

尚絅学院大学 教育研究支援課

大学広報室: 清野 正恵

電話: 022-381-3501

Mail: ksien@shokei.ac.jp

2025年度尚絅学院大学 生涯学習講座「尚絅オープンユニバーシティ」

日本の 染織探訪 ～歴史と技～

受講料
3,900円



講師 玉田 真紀

尚絅学院大学 名誉教授
服飾文化学会 会長

日時：〈全3回〉

7月10日(木)・7月17日(木)・7月24日(木)
13:30～15:00

場所：尚絅学院大学 長町サテライトプラザ

【アクセス】 地下鉄長町駅直結・JR長町駅前
駐車場はございません。公共交通機関でお越しください。

お申込について

申込締切 2025年7月7日 午前10時まで

お申込・講座の詳細は、

尚絅学院大学 生涯学習講座



※お申込はインターネットからのみ受け付けております。



25A02

日本の染織探訪～歴史と技～

日本の染織探訪～歴史と技～

関連する SDGs : 12 つくる責任
消費責任

申込フォーム

スマートフォンからも
お申込みできます



期 間：2025 年 7/10 (木)・7/17 (木) 7/24 (木) [全 3 回]
場 所：尚綱学院大学長町サテライトプラザ

〒982-0011 仙台市太白区長町 5-3-1
たいはつくるイオプラザ 1 階

時 間：13:30～15:00

対 象 者：テーマに興味・関心があり学んでみたいと思っている方。

持 ち 物：筆記用具

修了要件：80%以上出席した方に修了証を発行予定です。

定 員：15 名
最少催行人数：8 名
受 講 料：3,900 円

受講生へのメッセージ

★☆☆ (レベル 1：初心者～初級者)

日々の生活で布や衣服に触れない日はありません。それらは単なる消費する商品ではありません。長い歴史の中で、人が知恵と工夫から生み出したものであり、物語があり、日本で育まれた染織文化があります。実物に触れ、布を見る眼を養い、その魅力に共感していただけたら嬉しいです。

日程	テーマ・内容	講 師
第 1 回 7/10	テーマ：自然素材からの糸作り～草皮・樹皮・繭 内容：人は生活周辺の自然素材から繊維を採取し、糸作りをする工夫をして来ました。古代からある草皮や樹皮繊維、蚕が作る繭からの糸作りを知ること、人の技の素晴らしさと、自然からの恩恵を感じ、できあがった布への愛着が生まれます。古代からある原始織物の技は、現代の日本各地の伝統産業の礎にもなっています。地場産業とのつながりもお話しします。糸をどう作るか。糸のデザインの基礎がわかる内容です。	玉田 真紀 尚綱学院大学 名誉教授、 服飾文化学会会長
第 2 回 7/17	テーマ：日本で慈しんだ絹文化～奈良から近現代まで 内容：現代人には馴染みが薄い絹ですが、養蚕と生糸の生産は、日本にとって古代から昭和初期まで、重要な産業でした。消滅させてはならない「小石丸」は皇居内で引き継がれています。絹は、奈良から平安の公家文化で、鎌倉から室町の武家文化で、江戸の武家や商人文化で常用され、明治に入ると、生糸を海外輸出するほど栄えた歴史があります。和装に絹を思い描く人も多く、その染織の豊富さと技術の高さは、現代の工房にも引き継がれています。名物裂(きれ)など、海外貿易との深いつながりもあります。国産が激減し、継続の危機に直面している絹文化の歴史について解説します。	
第 3 回 7/24	テーマ：町人文化から花開いた友禅染と展開 内容：布に色や柄を付ける方法には2つ、先染と後染があります。その技法の見分け方について学んだ上で、ここでは、後染の友禅染について、江戸時代に贅沢を禁止された町人の知恵から生まれた発祥の物語、さらに友禅文様の画題の多彩さと様々な意味についてお話しします。文様には、日本の風景や行事、動植物、文物が表現されています。また、糊置き多色染の展開として、筒描き染やモスリン友禅、注染なども解説します。	